

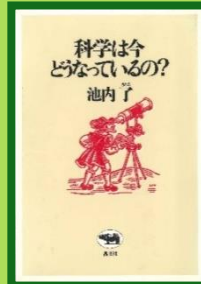
お客様よりオススメ本の紹介 Vol.3 (最終回)



2014年10/23~11/30の間、森の図書館をご利用されていたお客様のおススメ本やお気に入りの本のアンケートをいたしました。今回は第3回目の最終回となります。皆様、ご協力ありがとうございました。

P.N book worm 様のご紹介

『科学は今どうなっているの?』 池内了著/講談社晶文社 分類:404
原発事故、オゾン層破壊、クローン技術など、岐路にたたされた人類に未来はあるのか現代の我々の責任を問い、次世代へのヒントを探る科学時評です。大地震、大津波、原発事故への備えを東日本大震災の10年前に警告しています。



匿名希望の方よりご紹介

『角米のお庭番』 朝賀昭著/講談社 分類:312.1
・賀籠に乗る人、担ぐ人、そのまた草鞋を作る人
・“いいか、戸別訪問三万軒、辻説法五万回をやりぬけ” 一郎青年(小沢)に向かって田中幹事長は厳守した。

P.N あみー様のご紹介

『本は、これから』 池澤夏樹編/岩波書店 分類:020(中央館所蔵)
電子書籍が本格的に売り出される今、紙の本はどうなってしまうのか。著者池澤夏樹を筆頭に、池上彰や上野千鶴子など知識人が意見を展開しています。改めて紙の本にしかない良い所が見つかり、やっぱり本っていいなあ、と思わせてくれます。

宇宙に思いをさせて



この夏は、宇宙に関するイベントが目白押しです。7月下旬には、油井亀美也さんの搭乗する宇宙船リュースが打ち上げ予定です。また、8月上旬には、「スターウィーク」(星空に親しむ週間)があり、各地でイベントが開催されるそうです。

他にもNASAの無人探査機ニューホライズンが冥王星に最接近したり、ペルセウス座流星群があったりと、宇宙のことを考える機会が多くなりそうな夏です。そこで、宇宙に関する本を2冊ご紹介いたします。



『天文学の図鑑』は、今年の6月に出版ばかりです。星座や星の動きから、惑星、宇宙の終焉にいたるまで、初心者にも分かりやすいイラストと親しみやすい文章で書かれています。



宇宙は謎に満ちています。星の正体とは何でしょう?宇宙の果てはどうなっているのでしょうか?解き明かされていく謎に、心がときめきますよ。美しい写真とオールカラーのイラストも見どころです。

『天文学の図鑑』
池田圭一著/技術評論社

『ここまで解けた! 宇宙の謎と不思議を楽しむ本』
藤井旭著/PHP 研究所